

**平成30年度 全国学力・学習状況調査**  
**【三田市】の結果速報**  
(平成30年4月17日実施)

三田市教育委員会

# 結果（本市の全体的な状況）をお知らせします

平成30年4月17日に「全国学力・学習状況調査」を行いました。

## 1 調査の目的

この調査は、文部科学省として次の3点を目的として実施しています。

- ◆ 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力・学習状況を把握・分析し、教育及び教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る
- ◆ 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善に役立てる
- ◆ そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する

全国学力・学習状況調査はすべての学力を測るものではありませんが、調査して得た結果の活用を大切にし、教育行政及び学校現場が、今までの取組の成果と課題を把握するとともに、今後の取組に活かしていくことを目指します。なお、調査結果については、学校間の序列化や過度な競争等につながらないように、また正常な教育活動がゆがめられることがないように慎重に取り扱います。

## 2 本市における当調査の実施状況について

- (1) 実施日 平成30年4月17日（火）
- (2) 調査対象 小学校6年生（市内20校989名）中学校3年生（市内8校881名）
- (3) 調査内容

### ① 教科に関する調査（国語、算数・数学、理科）

- ・主として「知識」に関する問題（A）（以下（A）と表記）
- ・主として「活用」に関する問題（B）（以下（B）と表記）

※理科については、主として「知識」に関する問題と主として「活用」に関する問題を一体的に問う

### ② 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

- ・児童生徒に対する調査
- ・学校に対する調査

## 3 学力調査結果について

三田市では、今年度も各教科及び領域の平均正答率は、小数点以下を四捨五入した整数値で公表します。ただし、各設問の正答率及び質問紙の数値については、従来通り、小数点以下第1位の数値を公表します。

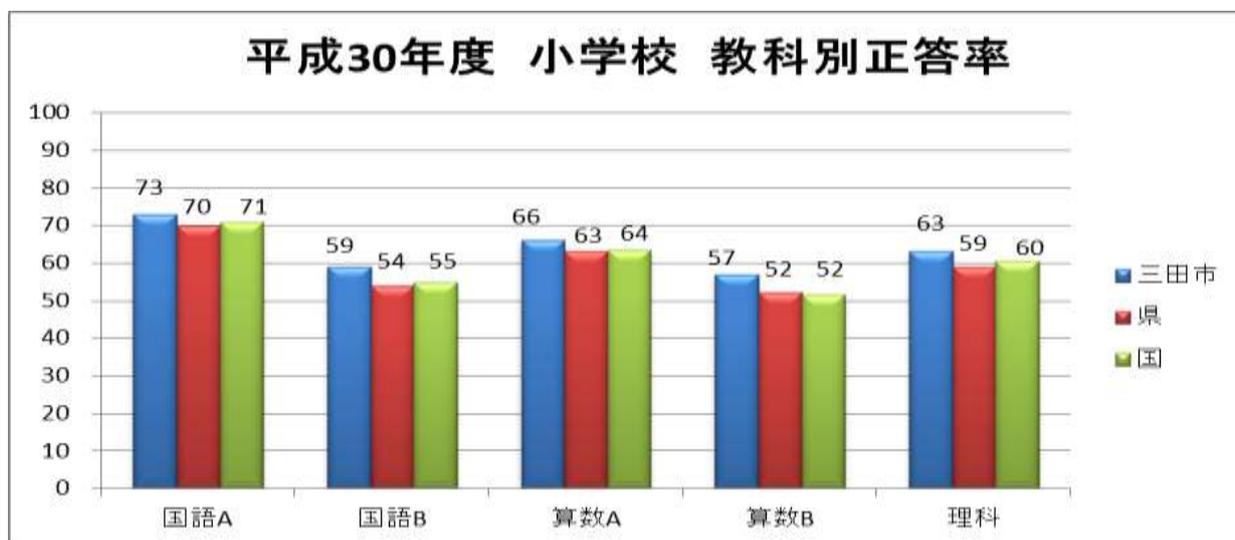
### (1) 概要

本市児童生徒の国語（A）（B）、算数・数学（A）（B）、理科は、全国（公立学校）の平均正答率をすべて上回り、学力の定着は良好な状況といえます。

特に、中学校国語（B）（全国平均より+6ポイント）、中学校数学（A）（全国平均より+11ポイント）、同（B）（全国平均より+11ポイント）、中学校理科（全国平均より+6ポイント）が高くなっています。

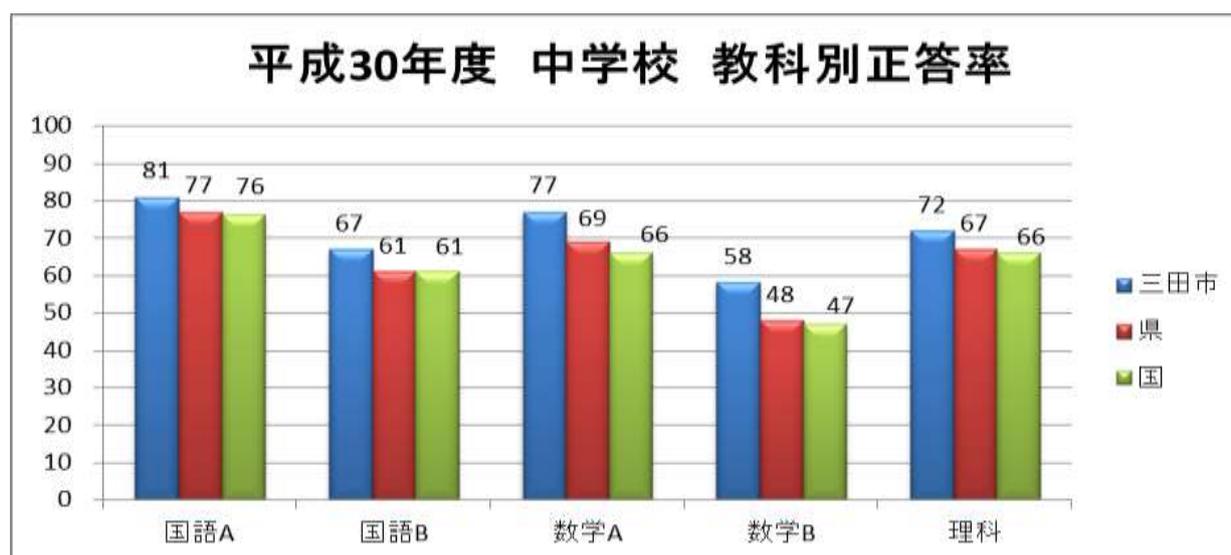
## 平成30年度 小学校 教科別平均正答率

	国語A	国語B	算数A	算数B	理科
<b>三田市</b>	<b>73</b>	<b>59</b>	<b>66</b>	<b>57</b>	<b>63</b>
県	70	54	63	52	59
国	71	55	64	52	60
国との比較	+2	+4	+2	+5	+3



## 平成30年度 中学校 教科別平均正答率

	国語A	国語B	数学A	数学B	理科
<b>三田市</b>	<b>81</b>	<b>67</b>	<b>77</b>	<b>58</b>	<b>72</b>
県	77	61	69	48	67
国	76	61	66	47	66
国との比較	+5	+6	+11	+11	+6



#### 4 今後の対応について

市教育委員会は「三田市学力向上推進委員会」を開催し、市全体の結果分析と改善方策の検討を行い、市全体の概要と改善方策について、12月上旬を目途に市のホームページに掲載する予定としています。

##### 三田市学力向上推進委員会について

①日 時 第1回 平成30年 8月17日(金)

第2回 平成30年10月17日(水)

②構成員 大学教授

三田市小中学校国語、算数・数学、理科各代表管理職及び担当  
教員代表

三田市教育委員会指導主事